



休暇を楽しみつつ、自分を律して学習もね！ の巻

9月からの4か月間、頑張りましたね！

振り返れば夏休み明けの前期末テストからスタートして、普段の授業や探究活動だけでなく、クラスマッチやイングリッシュ・スタディなどの行事もこなし、さらに数々のテストを乗り越えてきた皆さんはすごい！ お疲れさまです！一息つきましょ！



Check!

01

冬休み！ 羽を伸ばしつつ、いろいろな経験をしよう

冬休みと聞いて皆さんが最初に思い浮かべるのは何でしょうか。クリスマス？ お正月？

友達や家族とどこかへ出かけたりする人もいるかもしれませんね。そういう機会がある方は、ぜひ満喫してください。お出かけの計画を立てたり、行先について調べたり、歴史を調べたりしておくのも楽しいですよ！ 出かけなくても、クリスマスケーキを作ってみたり、年越しそばを作ってみたり、なんてのも素敵。

年末には大掃除やおせち作りをするお家もあるでしょう。そういうお手伝いもしっかりやれるといいですね。

「えーっ、めんどくさいー」という人もいるでしょうが、実は、そういう日常っぽい経験って結構大切なんですよ。

「この買い物、どういう順に回ったらスムーズに終わるかな？」

「こんなにたくさんの料理をするのに、どうやったら時間を無駄にしなくて済むかな……」

なんて段取りの力もつきますし(料理なんて、将来進学して一人暮らしをするときにも役立ちますしね！)、

「この謎の汚れ、どうやったら落ちるんだろう？」なんてところから、

「こんなのつまらないと思ってたけど、やってみたら案外面白いな…？」

なんて、興味関心が広がるきっかけになるかもしれません。

そう、どこにあなたの心を驚掴みにする物事やきっかけがあるかは、誰にもわからないのです。

あまり話したことのない親戚の人と新年に会ったら思い切って話をしてみるとか、ちょっとした(?)ことでもいいのです。小さな挑戦、いろいろやってみてくださいね！ 何か自分の変化や成長を発見できるといいですね！



Check!

02

楽しみつつ、締めるところはきっちりと。「自律」する力を伸ばそう

年末年始のイベントを目一杯楽しむことも大切です。

しかし同時に、締めるべきところはしっかりと締めましょう。つまり毎日の勉強&冬休みの課題です。

館一生である皆さんには、楽しむべきことは楽しみつつ、やるべきこともきちんとやれる、自分で自分を律する力を身につけてもらいたいです。さらに、ただ「やった」「終わらせた」ではなくて、「自分で問題点を把握して克服する」ことができるようになってほしいものです。

冬休みの終わりに約20日間を振り返って、

「あーなんとなく過ごしちゃったー、課題も中途半端だーどうしようー」と思うのと、

「遊びも勉強もやりたいと思っていたことがちゃんとできたぞ！」と思うのとを比べたら、できれば後者の気持ちで冬休み明けを迎えたいですね。

そのためには、まず計画……とまでいかずとも、見通しを立てる必要があります。

このしおりを読んだ後、次のことを考えてみてください。



(1)冬休み、予定がいつどのくらい入っているか。楽しみや家のことで確保したい時間はどれくらいか。

(2)毎日のルーティンとしての基本的な勉強時間はどれくらいか。

そのうち(1)で除かれる時間はどれくらいか。

(出かけた後は疲れるからこの日は休む、なども考える！)

(3)こなさなければならない課題の量はどれくらいか(締め切りはいつか)。

・毎日少しずつやる(べき)ものはどれか

・一日か二日で終わらせられるものはどれか、いつやるか(予備日も決める)

(4)(2)で考えていた時間で終わらないようなら、1日当たりの時間をどれくらい増やすか



そろそろ、「ワーク1ページを勉強するのにどれくらいの時間が必要なのか」などは分かってきていると思いますので、必要な時間を計算してみてください。予備日など、余裕をもたせて計算しましょう！



冬休み明け、1/11(木)は学力推移調査！ 自分が克服したい分野・ポイントを絞ろう

課題のほかに、学力推移調査に向けての対策もしておきましょう。前回の GTZ を越えたいですね！

先日の新教研テストの結果と、前回の学力推移調査の結果とを参照して、前回できなかったところや惜しかったところ、苦手なところを徹底的に対策しましょう。

次のように進めてみてください。

- (1)自分が点数を伸ばしたい分野やポイントを決めましょう。
- (2)その分野やポイントについて、自分が理解できていないところ、苦手なところを洗い出しましょう。
- (3)理解するために、あるいは正解率を上げるために、何をしたらよいかを書き出しましょう。
- (4)わからないところは、わかるところから積み上げなおしましょう。
困ったときには友だちに相談してみたりして解決していきましょう。
- (5)簡単なこと、やれることから進めてみましょう！

1年生の出題範囲は以下の通りです。

未習分野に手を付けるよりも、習ったことを確実にできるようにしていくことをおすすめします。

国語	数学	英語
①言語知識・言語活用 ②説明的文章読解 ③小説読解 ④随筆読解 【①詳細】 ・漢字に関する知識(書き取り・読み・構成など) ・語彙(ことわざ・慣用句など) ・口語文法(言葉の単位・文の成分など) ・言語活動の場面を想定した設問	【必答問題2題】 ・正の数、負の数 ・文字の式 ・方程式 【選択問題 3題より2題】 ・方程式 ・比例と反比例 ・平面図形、空間図形 (先生より指示があります)	①リスニング ②語彙・文法 ③読解・表現 ④読解 ⑤英作文 第2回の範囲に加え、 ・一般動詞(三単現) ・代名詞 ・疑問詞(what+名詞、when, where, how many, whose, how, which) ・現在進行形 ・命令文 接続詞(and, but, or) ・one(不定代名詞)

※第2回範囲は附属中 web サイト>学校生活>学習進路だより>夏休みのしおり 編
または右QRコードからどうぞ。

それでは、楽しく有意義な冬休みをお過ごしください！





休暇を楽しみつつ、自分を律して学習もね！ の巻

9月からの4か月間、頑張りましたね！

振り返れば夏休み明けの前期末テストからスタートして、普段の授業や探究活動だけでなく、クラスマッチや国内語学研修、他校との探究意見交換会などもこなし、さらに数々のテストを乗り越えてきた皆さんはすごい！ お疲れさまです！ 一息つきましよう！



Check!
01

冬休み！ 羽を伸ばしつつ、いろいろな経験をしよう

冬休みと聞いて皆さんが最初に思い浮かべるのは何でしょうか。クリスマス？ お正月？

友達や家族とどこかへ出かけたりする人もいるかもしれませんね。そういう機会がある方は、ぜひ満喫してください。お出かけの計画を立てたり、行先について調べたり、歴史を調べたりしておくのも楽しいですよ！ 出かけなくても、クリスマスケーキを作ってみたり、年越しそばを作ってみたり、なんてのも素敵。

年末には大掃除やおせち作りをするお家もあるでしょう。そういうお手伝いもしっかりやれるといいですね。

「えーっ、めんどくさいー」という人もいるでしょうが、実は、そういう日常っぽい経験って結構大切なんですよ。

「この買い物、どういう順に回ったらスムーズに終わるかな？」

「こんなにたくさんの料理をするのに、どうやったら時間を無駄にしなくて済むかな……」

なんて段取りの力もつきますし(料理なんて、将来進学して一人暮らしをするときにも役立ちますね！)、

「この謎の汚れ、どうやったら落ちるんだろう？」なんてところから、

「こんなのつまらないと思ってたけど、やってみたら案外面白いな…？」

なんて、興味関心が広がるきっかけになるかもしれません。

そう、どこにあなたの心を驚掴みにする物事やきっかけがあるかは、誰にもわからないのです。

あまり話したことのない親戚の人と新年に会ったら思い切って話をしてみるとか、ちょっとした(?)ことでもいいのです。小さな挑戦、いろいろやってみてくださいね！ 何か自分の変化や成長を発見できるといいですね！



Check!
02

楽しみつつ、締めるところはきっちりと。「自律」する力を伸ばそう

年末年始のイベントを目一杯楽しむことも大切です。

しかし同時に、締めるべきところはしっかりと締めましょう。つまり毎日の勉強&冬休みの課題です。

館一生である皆さんには、楽しむべきことは楽しみつつ、やるべきこともきちんとやれる、自分で自分を律する力を身につけてもらいたいです。さらに、ただ「やった」「終わらせた」ではなくて、「自分で問題点を把握して克服する」ことができるようになってほしいものです。

冬休みの終わりに約20日間を振り返って、

「あーなんとなく過ごしちゃったー、課題も中途半端だーどうしようー」と思うのと、

「遊びも勉強もやりたかったーと思ってたことがちゃんとできたぞ！」と思うのとを比べたら、

できれば後者の気持ちで冬休み明けを迎えたいですね。

そのためには、まず計画……とまでいかずとも、見通しを立てる必要があります。

このしおりを読んだ後、次のことを考えてみてください。



(1)冬休み、予定がいつどのくらい入っているか。楽しみや家のことで確保したい時間はどれくらいか。

(2)毎日のルーティンとしての基本的な勉強時間はどれくらいか。

そのうち(1)で除かれる時間はどれくらいか。

(出かけた後は疲れるからこの日は休む、なども考える！)

(3)こなさなければならない課題の量はどれくらいか(締め切りはいつか)。

・毎日少しずつやる(べき)ものはどれか

・一日か二日で終わらせられるものはどれか、いつやるか(予備日も決める)

(4)(2)で考えていた時間で終わらないようなら、1日当たりの時間をどれくらい増やすか



そろそろ、「ワーク1ページを勉強するのにどれくらいの時間が必要なのか」などは分かってきていると思いますので、必要な時間を計算してみてください。予備日など、余裕をもたせて計算しましょう！



冬休み明け、1/11(木)は学力推移調査！ 自分が克服したい分野・ポイントを絞ろう

課題のほかに、学力推移調査に向けての対策もしておきましょう。前回の GTZ を越えたいですね！

先日の新教研テストの結果と、前回の学力推移調査の結果とを参照して、前回できなかったところや惜しかったところ、苦手なところを徹底的に対策しましょう。

次のように進めてみてください。

- (1)自分が点数を伸ばしたい分野やポイントを決めましょう。
- (2)その分野やポイントについて、自分が理解できていないところ、苦手なところを洗い出しましょう。
- (3)理解するために、あるいは正解率を上げるために、何をしたらよいかを書き出しましょう。
- (4)わからないところは、わかるところから積み上げなおしましょう。
困ったときには友だちに相談してみたりして解決していきましょう。
- (5)簡単なこと、やれることから進めてみましょう！

2年生の出題範囲は以下の通りです。

未習分野に手を付けるよりも、習ったことを確実にできるようにしていくことをおすすめします。

国語	数学	英語
①言語知識・言語活用 ・漢字に関する知識(書き取り・読み・構成など) ・語彙(ことわざ・慣用句など) ・口語文法(言葉の単位・文の成分・活用など) ・言語活動の場面を想定した設問 ②説明的文章読解 ③文学的文章読解 ・小説、随筆等から出題 ④古文読解 ・現代語訳併記の古文に関する設問	全問必答(4題) ・検定教科書の中1の範囲 ・式と計算 ・連立方程式 ・一次関数 ・平行と合同、三角形・四角形の性質	①リスニング ②語彙・文法 ③読解・表現 ④読解 ⑤英作文 第2回の範囲に加え、 ・助動詞(must, have to, may) ・SVOO(Oは語・句) ・SVC(look) ・動名詞 ・比較の文(as...as~, 比較、 最上級(in / of / all), better, best, 副詞) ・SV+how to ・不定詞(副詞的用法)

※第2回範囲は附属中 web サイト>学校生活>学習進路だより>夏休みのしおり 編
または右QRコードからどうぞ。

それでは、楽しく有意義な冬休みをお過ごしください！





休暇を楽しみつつ、自分を律して学習もね！ の巻

9月からの4か月間、頑張りましたね！

振り返れば夏休み明けの前期末テストからスタートして、普段の授業や探究活動だけでなく、クラスマッチや修学旅行などもこなし、さらに数々のテストを乗り越えてきた皆さんはすごい！ お疲れさまです！

ちょっと一息つきましょう！



Check!

01

冬休み！ 羽を伸ばしつつ、いろいろな経験をしよう

冬休みと聞いて皆さんが最初に思い浮かべるのは何でしょうか。クリスマス？ お正月？

友達や家族とどこかへ出かけたりする人もいるかもしれませんね。そういう機会がある方は、ぜひ満喫してください。お出かけの計画を立てたり、行先について調べたり、歴史を調べたりしておくのも楽しいですよ！ 出かけなくても、クリスマスケーキを作ってみたり、年越しそばを作ってみたり、なんてのも素敵。

年末には大掃除やおせち作りをするお家もあるでしょう。そういうお手伝いもしっかりやれるといいですね。

「えーっ、めんどくさいー」という人もいるでしょうが、実は、そういう日常っぽい経験って結構大切なんですよ。

「この買い物、どういう順に回ったらスムーズに終わるかな？」

「こんなにたくさんの料理をするのに、どうやったら時間を無駄にしなくて済むかな……」

なんて段取りの力もつきますし(料理なんて、将来進学して一人暮らしをするときにも役立ちますね！)、

「この謎の汚れ、どうやったら落ちるんだろう？」なんてところから、

「こんなのつまらないと思ってたけど、やってみたら案外面白いな…？」

なんて、興味関心が広がるきっかけになるかもしれません。

そう、どこにあなたの心を驚掴みにする物事やきっかけがあるかは、誰にもわからないのです。

あまり話したことのない親戚の人と新年に会ったら思い切って話をしてみるとか、ちょっとした(?)ことでもいいです。小さな挑戦、いろいろやってみてくださいね！ 何か自分の変化や成長を発見できるといいですね！



Check!

02

楽しみつつ、締めるところはきっちりと。「自律」する力を伸ばそう

年末年始のイベントを目一杯楽しむことも大切です。

しかし同時に、締めるべきところはしっかりと締めましょう。つまり毎日の勉強&冬休みの課題です。

館一生である皆さんには、楽しむべきことは楽しみつつ、やるべきこともきちんとやれる、自分で自分を律する力を身につけてもらいたいです。さらに、ただ「やった」「終わらせた」ではなくて、「自分で問題点を把握して克服する」ことができるようになってほしいものです。

冬休みの終わりに約20日間を振り返って、

「あーなんとなく過ごしちゃったー、課題も中途半端だーどうしようー」と思うのと、

「遊びも勉強もやりたいと思っていたことがちゃんとできたぞ！」と思うのとを比べたら、できれば後者の気持ちで冬休み明けを迎えたいですね。

そのためには、まず計画……とまでいかずとも、見通しを立てる必要があります。

このしおりを読んだ後、次のことを考えてみてください。



(1)冬休み、予定がいつどのくらい入っているか。楽しみや家のことで確保したい時間はどれくらいか。

(2)毎日のルーティンとしての基本的な勉強時間はどれくらいか。

そのうち(1)で除かれる時間はどれくらいか。

(出かけた後は疲れるからこの日は休む、なども考える！)

(3)こなさなければならない課題の量はどれくらいか(締め切りはいつか)。

・毎日少しずつやる(べき)ものはどれか

・一日か二日で終わらせられるものはどれか、いつやるか(予備日も決める)

(4)(2)で考えていた時間で終わらないようなら、1日当たりの時間をどれくらい増やすか



そろそろ、「ワーク1ページを勉強するのにどれくらいの時間が必要なのか」などは分かってきていると思いますので、必要な時間を計算してみてください。予備日など、余裕をもたせて計算しましょう！



冬休み明け、1/11(木)は学力推移調査！ 自分が克服したい分野・ポイントを絞ろう

課題のほかに、学力推移調査に向けての対策もしておきましょう。前回の GTZ を越えたいですね！

先日の到達度テストの結果と、10月の新教研テスト、前回の学力推移調査の結果とを参照して、前回できなかったところや惜しかったところ、苦手なところを徹底的に対策しましょう。(スタディサプリの連動課題も活用してね！)

次のように進めてみてください。

- (1)自分が点数を伸ばしたい分野やポイントを決めましょう。
- (2)その分野やポイントについて、自分が理解できていないところ、苦手なところを洗い出しましょう。
- (3)理解するために、あるいは正解率を上げるために、何をしたらよいかを書き出しましょう。
- (4)わからないところは、わかるところから積み上げなおしましょう。
困ったときには友だちに相談してみたりして解決していきましょう。
- (5)簡単なこと、やれることから進めてみましょう！

3年生の出題範囲は以下の通りです。

未習分野に手を付けるよりも、習ったことを確実にできるようにしていくことをおすすめします。

国語	数学	英語
①言語知識・言語活用 ・漢字に関する知識(書き取り・読み・構成など) ・語彙(ことわざ・慣用句など) ・口語文法(品詞・活用など) ・言語活動の場面を想定した設問 ②説明的文章読解 ③文学的文章読解 ・小説、随筆等から出題 ④古文読解 ・歴史的仮名遣い・読解など	全問必答(5題) ・中学校の全履修範囲	①リスニング ②語彙・文法 ③読解・表現 ④読解 ⑤英作文 第2回の範囲に加え、 ・want 人 to do の文、tell 人 to do の文 ・help 人 動詞の原形 ・間接疑問文 ・SVOO(Oは節) ・分詞の後置修飾 ・関係代名詞(主格・目的格・目的格の省略) ・仮定法過去、I wish~の文

※第2回範囲は附属中 web サイト>学校生活>学習進路だより>夏休みのしおり 編
または右QRコードからどうぞ。

それでは、楽しく有意義な冬休みをお過ごしください！

ハイレベル課外受講者は模試も頑張ってきてね！

